

関空夏まつりに  
観光PRブースを出展

新名神高速道路の開通によりアクセスが便利になったことから、市では、インバウンド(訪日外国人旅行者)の受け入れ強化を図っています。

その一環として、8月27日、28日の2日間、関西国際空港で開催された関空夏まつり「逸品縁日」に、甲賀市のブースを出展し、観光PRを行いました。

ブース内では、パンフレットの配布や特産品の販売、手裏剣投げ体験などを実施。また、市内のゆるキャラ「にんじゃえもん」と「ぽんぽこちゃん」も登場し、おもてなしの心をもって訪れた人とふれあいながら甲賀市の魅力を発信しました。



関空夏まつり

甲賀市のブース前でPRする忍者姿のスタッフとにんじゃえもん

▼来場者とふれあうぽんぽこちゃん



自然の中で  
地元の恵みを味わう

ニンニン忍者キャンプ



▲かんぴょう巻きに挑戦する参加者

竜王町の希望が丘文化公園野外活動センターで、8月16日から19日の3泊4日の日程で、市教育委員会が主催するニンニン忍者キャンプが行われ、市内小中学生

31名が参加しました。キャンプリーダーの指導を受けながら三上山登山や野外炊飯などを体験し、キャンプ生活に必要な知識や技術を学びました。

野外炊飯では、地元産の食材を使い、野菜たっぷりの「忍者鍋」や約10メートルのかんぴょう巻きなどにも挑戦し、力を合わせて作った格別な料理を味わいました。

子どもたちにとって、みんなで囲んだ食事の楽しさをはじめ、自然の中での様々な体験が忘れられない夏の思い出になったようです。

楽しみながら体作り

のぞみ保育園・元気タイム

のぞみ保育園で9月2日、運動遊びの「元気タイム」が行われ、3歳から5歳児が組ごとに参加し、力いっぱい体を動かしました。年齢に合わせた楽しい遊びで運動能力を高め、将来にわたって健康な体作りを目的に毎月行われています。



▲ストレッチ「みんなでウルトラマン」

普段と違う目線で  
まちを見直す

鹿深車イスDEウォーキング2011が8月27日、甲賀体育館を起点に行われ、参加者約80名が、助言を受けながら車イスで町の中を歩く体験をしました。

この催しは、公益社団法人甲賀・湖南人権センターが主催し、今年で12回目を迎えます。

商店街での買い物や電車の乗降体験など5つのコースが設けられ、油日小学校では、6人制のゴム風船を使ったバリアフリースポーツ、風船パレーが行われました。

参加者は、車イスにとって道路の小さなくぼみや傾斜がどれだけ大変なことかを体感し、困っている人を見かけたら気軽に声をかけたいと話していました。

▲一見ならかなスロープに苦戦

子どもたちに  
過ごしやすい環境を

教育施設修繕奉仕活動

夏休み期間を利用して、市内の小中学校、保育園、幼稚園、子育て支援センターなどで施設修繕奉仕活動が行われました。

この活動は、まちの将来を担う子どもたちに、新学期から気持ちよく勉学に励んでもらおうと行われたもので、甲賀市商工会(信楽建築同業組合および建設業部会水口支部)、滋賀県電気工事工業組合水口支部甲賀・甲南最寄会から計58名がボランティアとして参加いただきました。

皆さんの熟練の技で、電気や水道、左官、大工修繕が手際よく進められました。

美しくなった施設で、子どもたちも気分を新たに新学期を迎えていることでしょう。



施設の修繕作業を行う皆さん(水口小学校)

伝統を受け継ぐ子どもたち

信楽町牧にある日雲神社で9月4日、雨乞いや五穀豊穡を祈る太鼓踊り(県選択無形民俗文化財)が奉納されました。

雨天のため、拝殿を囲んで踊り手が輪になり、音頭取りの歌に合わせて太鼓を打ちながら踊ります。総勢26名が参加した中、小学生13名が踊り手として活躍しました。

小学生の参加は、後継者育成を目的に平成20年から始まり、今年も、小学3年生から6年生までが参加しました。練習は夏休み期間中、踊り手などで構成される鼓友会の指導で行われ、全部で10曲以上ある踊りの曲目のうち、毎年1曲ずつ教わっています。

堂々と踊りを披露した子どもたちは、「緊張したけど楽しかった」「これからも続けたい」と意気込みを話してくれました。

日雲神社・太鼓祭り



▲踊り手として活躍する児童

鹿深車イスDEウォーキング2011

風船パレーに熱中する参加者

